



**伝える相手や活動の目的を具体的に示して、
「外国語によるコミュニケーションにおける見
方・考え方」がより働くようにしています！**

<授業の導入時のイメージ>

目的、場面、状況の設定

伝える相手・活動の目的

見方・考え方

実践例① 伝える相手を具体的に明示する(話す/書く)

◎「ALTの友達Tomへ」だけではなく、「Tomがどんな人物なのか」を示します。

<Tomについて>・Tom can play soccer very well. ・He likes the countryside.
・He is interested in samurai. …etc.

※Tomに関わらせながら内容をまとめるところに、見方・考え方が働きます。

T :Let's introduce good places in Gifu to Tom(ALT's friend).

S1:【soccer】⇒「I'll introduce Nagaragawa Stadium. Because...」

S2:【the countryside】⇒「I'll introduce Shirakawago. Because...」

S3:【samurai】⇒「I'll introduce Gifu Castle. Because...」 ※下線部に見方・考え方が働きます。



中学校英語 16 【正答率 岐阜県:56.2%】

問題の概要:留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を話す。

実践例② 活動の目的を具体的に伝える(聞く/読む)

◎「本文を読んでみよう」ではなく、読む目的を具体的に伝えます。

※「著者の伝えたいこと(要点)を読み取る」という目的をもつことで、著者の「主張」や「その理由」に着目し整理していくところに、見方・考え方が働きます。

T:What does the author want to say?(著者の伝えたいことの読み取りの場合)

～生徒の心の中で、読み物との対話が始まります～

S:著者は、地球温暖化については反対なんだ。理由は…。だとすると…

S:著者は、温暖化の原因は、自分たちにもあると思っているんだ。だとすると…

S:著者の主張から、著者が伝えたいことは〇〇ということだ。 ※下線部に見方・考え方が働きます。



中学校英語 10(1) 【正答率 岐阜県:50.9%】

問題の概要:インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを把握する。

ここを大切に!

☑目的、場面、状況の設定では、伝える相手や活動の目的を具体的に示す

☑子どもたちが、見方・考え方を働かせ、内容や表現を考える